

## 1. 介護費の伸び率分析

## 2. 被保険者 1 人当たり介護費の三要素分析

# 介護費の構造と要素

- 介護費は様々な要因によって変動するため、介護費を構成する要素に分けて分析することが有効である。
- 介護サービス費を構成する要素は、大きく以下のとおりである。

施設サービス: 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、地域密着型介護老人福祉施設  
 居住系サービス: 特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護  
 在宅サービス: 訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、福祉用具貸与、短期入所生活介護、短期入所療養介護、居宅療養管理指導、特定福祉用具販売、住宅改修、居宅介護支援、介護予防支援、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、複合型サービス

## 介護費(1か月当たり)

$$= \text{①-1 施設サービス費} + \text{①-2 居住系サービス費} + \text{①-3 在宅サービス費}$$

$$\text{①サービス費} = \text{②サービス受給者数} \times \text{サービス利用者1人1か月当たり費用}$$

$$\text{②サービス受給者数} = \text{③認定者数} \times \text{サービス受給率}$$

$$\text{③認定者数} = \text{第1号被保険者数} \times \text{要支援・要介護認定率}$$

構成要素である「要支援・要介護認定率」「サービス受給率」「サービス利用者1人1か月当たり費用」及び「施設・居住系と在宅サービスのバランス」に着目して介護費の地域差分析を行う

## 地域差を生じさせる要素と分析の視点

要支援・要介護認定率

サービス受給率

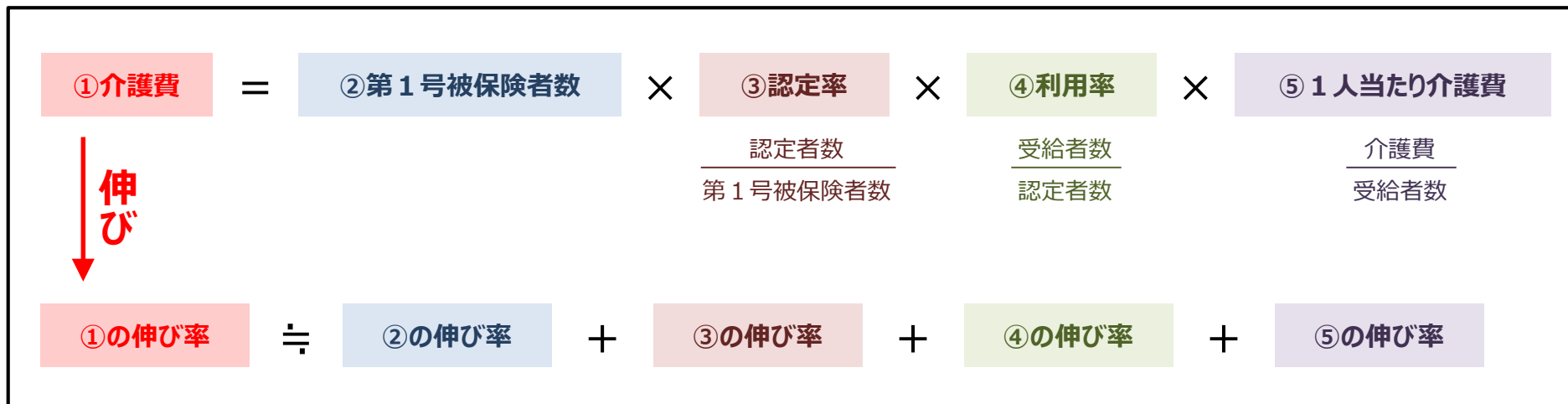
サービス利用者1人1か月当たり費用

- 第1号被保険者(65歳以上人口)のうち介護サービスを利用する可能性がある高齢者(要支援・要介護者)の割合に他の保険者と乖離があれば、介護予防等の取組の観点から分析する。

- 要支援・要介護者が利用しているサービスを「受給している高齢者の割合(サービス受給率)」の観点から見ることで、どのサービスの受給者に地域差があるかを分析する。
- 「受給しているサービスの単価(サービス利用者1人1か月当たり費用)」の観点から見ることで、サービスの利用のされ方(日数・回数等)に地域差があるかを分析する。

# 介護費の伸び率分析

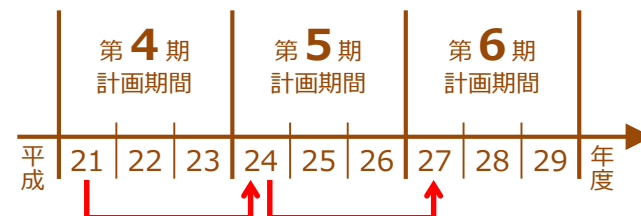
介護費の伸び率を地域別に比較するにあたり、介護費を構成する各要素に分けて分析



## 比較年度

計画期間を踏まえ、以下の3か年度間を比較

- 2009（平成21）年度
  - ↓
  - 2012（平成24）年度
  - ↓
  - 2015（平成27）年度
- 伸び
- 伸び



## データ

介護保険事業状況報告（厚生労働省老健局介護保険計画課）の年報及び月報を用いて作成

[介護費]

- ・ 3月～翌年2月サービス分（第1号被保険者分）
- ・ 補足給付を含むが地域支援事業に係る費用は含まない。
- ・ 平成27年度は、月報（暫定）値を各月積み上げて作成

[第1号被保険者数、認定者数]

- ・ 各年9月末現在

[受給者数]

- ・ 3月～翌年2月サービスの第1号被保険者受給者数（月平均）